



1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



**Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace**

〈本日のプログラム〉

第371回 平成7年7月4日(金)

1. 点 鐘
 2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
 3. 食 事
 4. 会長の時間
 5. 幹事報告
 6. 各委員会報告
 7. クラブ協議会
 8. 点 鐘
- 会長 藤堂孝一
副会長 児玉武文
幹事 福井輝文
会計 中武靖雄
会報責任者 垂水敏雄

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015
事務所 ☎880-02佐土原町大字下田島7912
(株)福井工務店内 ☎0985-73-0291

第370回例会記録 (1995.7.7)

☆会長の時間

藤堂 孝一君

皆さん今日は、本日は第370回例会です。私の最初の会長の時間です。

はじめに、梶田與之助会員よりロータリー財団に対して1,000\$のご寄付をいただきましたので、早速送金いたしました。ご芳志に心から感謝申し上げます。

今日から会長として1年間努めさせていただることになりました。もとより、その様な器ではございませんが、順番としてやむなくお引き受けした次第であります。微力ながら何とか努力したいと考えてはおりますので、なにとぞ皆様方のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

7月28日(金)に竹内三郎ガバナーの公式訪問が決定しました。各委員長さんには、委員会活動方針、活動計画、予算計画のご提出で大変お世話になりました。特に会計の大野高志君には、決算書作成を急々にお願いし、お忙しいところをすみませんでした。ご協力に深く感謝申し上げます。

お陰様で、次の例会(7月14日)では「1995~1996年度公式訪問報告書」をお配りすることができると思います。

☆幹事報告

福井 輝文君

初めての幹事報告です。(激励の拍手)

1. 例会変更通知

*都城中央RC 次年度(平成7年7月)より、第2例会(木)を夜間例会(午後7時~8時)にします。場所 都城大丸 7階

2. 次週の例会(7月14日)は、分区代理が出席されて、ガバナー公式訪問のリハーサル(クラブ協議会)を行う予定でしたが、分区代理より出席できないとの連絡がありましたので、通常通り夜間例会にします。

☆出席報告

委員長 神宮寺 利夫君

会員数	30名
H C出席者数	25名
欠席者数	5名
出席率	83.3%
メークアップ者数	2名
修正出席率	90%
欠席者名	伊東・吉田・林

☆親睦委員会より

宮原建樹君

7月セレモニーを行います。今月は誕生日祝いの方だけです。

田村勝二君

加藤仙之君

福田 誠君

以上の3名の方に、藤堂会長より記念品を贈呈して、心から祝福申し上げます。

なお、今年度から、ご夫人の誕生日祝いに、赤いバラ一輪をお贈りすることにしました。今月は斎藤会員のご夫人です。

☆新年度の方針

会長 藤 堂 孝 一 君

竹内ガバナーに提出しました『佐土原ロータリークラブの計画及び目的の要約』の中から、抽出して述べさせていただきます。

○新会員を当クラブに一日も早く融合していただくため、それぞれ新会員を推薦された会員に、例会時には当該新会員の隣席に座って、いろいろと気配りをもらいたいと思います。当分の間、例会の配席についてSAAの方でご配意をお願いしたいと考えます。

また、今年度の第2730地区大会は11月24日(金)~26日(日)に、シーガイアのサミットコンベンションホールで開催されますが、新会員の皆さん是非とも全員ご参加をお願いしたいと思います。先輩会員の方々のロータリーに対する情熱と、ロータリアンの深い連帯意識がひしひしと感じられて、ロータリーにご入会された歓び・誇りに満たされることでしょう。日帰りできる場所ですので、夜の大懇親会にも全員出席していただきたいと思います。

○クラブ奉仕関係では、退会者の防止に留意したいと考えます。当クラブは創立時20名の会員で、その後現在までに入会された会員は30名です。退会者が全然なかったら、今は50名に達していたところなのです。残念でなりません。

過去の事例では、入会後短期間で退会された方もかなりおられます。ロータリーの良さが分かるまでには、ある程度の期間が必要だと言われますが、そのよう

な前例に鑑みて、特に新会員の方々に対して、例会出席が楽しくなるような気配りをしなければならないと考えます。

例会プログラムや運営方法の再検討も必要であると思います。

さらに、各委員会活動に無関心な会員が生じないよう、委員会活動の活性化・充実を促進していただくようお願いいたします。

○職業奉仕関係では、正岡会長年度に職場訪問を行いましたが、本年度も、佐土原町の誘致企業の中から選定して、職場訪問を実施したいと考えています。

○社会奉仕関係は、皆さんのが承知のとおり、前年度に佐土原町久峰総合公園に桜の記念植樹寄贈を行い、マスコミ、佐土原町広報紙を通じて広く報道され、佐土原クラブの存在が一般町民に認識されたと思います。

会員数の面で資金が少なく、社会奉仕活動も十分できないとは思いますが、重点活動事項を一つに絞って、町当局とのコミュニケーションを図り、地域社会のニーズに対応できる活動を推進したいと考えます。

○国際奉仕関係についてはなかなか難しい分野ですが、例えば、町学校教育課に町内中学校を巡回して英会話を指導している外国人教師が派遣されていますので、その方を当クラブの例会に招いて特別卓話をお願いし、国際理解と親善を深める一助とすることもできると思います。各委員長さんよろしくお願ひいたします。

☆新年度の方針

幹事 福井輝文君

幹事は会長を補佐する役であります。ロータリー歴の浅い私は、逆に会長の足を引っ張るのではないかと危惧しております。

ただ、藤堂会長とは職業分類も同じで、学校の先輩と後輩の関係もありますので、お互い心は通っていると思います。

微力ですが、会長に協力して一生懸命努力したいと思いますので、皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以前から考えていたのですが、ロータリークラブの例会は、食事をして、話を聞いて、そのまま帰るというスタイルに固定しがちで、会員相互の対話の時間が乏しいようです。そこで、本年度からは第2金曜日の夜間例会をフリートークイングにしてはと思います。各会員が自由に話題を提供し、わいわいガヤガヤと話し合える場を設けることは、クラブのチームワークづくりのために有益であると考えられます。

会員相互の理解と親睦を深め、チームワークをつくることを本年度の目標にしたいと考えます。

昨年度、私は殆ど例会に出席したと思います。人間はやるという意思があれば、目標を達成できるものです。

いろいろ支障があっても、それを克服しようとする気持ちがあれば、自ずから新しい道が開けて来るものです。

出席率の高い、楽しい例会を目指して、幹事の立場から努力したいと思います。

☆S・A・Aより

田村勝二君

藤堂会長の新年度方針の中にもありましたが、例会場の座席の配置について皆さんのご意向をお伺いしたいと思います。

☆前年度会計より

大野高志君

昨年度のハッピーボックスの収入金額を報告します。

1994年7月1日から1995年6月30日までの総合計は92,675円です。

それと、本年1月6日の新年家族懇親会でのバザーの収益金は128,200円になっています。

例会予告

7月21日(金)の例会で、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕各委員長の「新年度方針発表」があります。

◇ガバナー公式訪問

国際ロータリー細則第12条第7節の(d)に地区ガバナーの「任務」が規定してありますが、その中で『ガバナーは(就任後)できるだけ年度の早い時期、なるべく前半6ヶ月に担当地区内の全クラブを公式訪問すること。』とあります。

公式訪問とは監査ではなく、ガバナーが各クラブの実態を把握し、必要に応じて指導・助言をするための一種の勉強会的なものと考えてよいでしょう。